

基本方針3 大阪府立図書館は、府域の子どもが豊かに育つ読書環境づくりを進めるとともに、国際児童文学館の機能充実に努めます。

重点目標 3-1	図書館利用が困難な環境におかれた子どもへのサービスを広げます。				
評価 (25年度)	○	【評価の理由】 乳児院・児童養護施設への出前おはなし会は計画的に実施し、年度末には施設側と意見交換を行った。また、ボランティアとの連携も模索中である。なお、『はらっぱ』にて事業内容を紹介し、課題をとりまとめるなど、他館の参考となるよう情報提供にも努めた。 日本語を母語としない利用者に対しては、外国語資料の利用促進を図るとともに、外国語によるおはなし会を NPO とも協働して実施するなど、より充実したものとなるよう努めた。			
重点指標		24 年度末 実績	目標	25 年度末 実績	進捗（[] は中間結果）
関連事業の取組み件数		54	毎年 54	54	
外国語資料の貸出冊数		2,946	毎年 3,000	3,138	
【アクション・プラン】					
	取組み		達成度		
平成 25 年 度	(1)図書館利用が難しい子どもたちへのサービスの提供 乳児院・児童養護施設への出前おはなし会の実施 手話を用いたおはなし会の実施 外国語によるおはなし会の実施 (2)外国語資料の収集と利用の促進		(1)乳児院・児童養護施設への出前おはなし会は各施設へ月 1 回実施。 手話を用いたおはなし会および外国語によるおはなし会は、定例プログラムに加え、特別プログラムを実施 (2)外国語資料の棚レイアウトを改善、書庫内資料を見直し開架		
平成 26 年 度	(1)図書館利用が難しい子どもたちへのサービスの提供 乳児院・児童養護施設への出前おはなし会の実施 手話を用いたおはなし会の実施 外国語によるおはなし会の実施 上記に加え他のサービスも検討 (2)外国語資料の収集と利用の促進				
平成 27 年 度					
【アクション・プランのねらい】（25 年度当初に記入） ・府域の全ての子どもたちの豊かな読書環境づくりを推進するためには、来館が難しい子どもや、利用に際して何らかの援助が必要な子どもへのサービスの充実が必要である。来館が難しい児童養護施設への出前おはなし会、聴覚障がいを持つ子どもへの手話によるおはなし会、日本語を母国語としない子どもへの多言語によるおはなし会等を実施し、府域図書館等に成果をフィードバックする。					